

「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」完成式フォーラム

令和元年7月12日に常呂町多目的研修センターにおいて、「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」完成式フォーラムを開催しました。タイムラインは、地域住民の円滑な避難を図るために必要な行動項目やタイミングを関係機関と連携して検討し、災害が発生する前までに安全な避難を行うための事前防災行動計画を策定するものです。

本日、これまでに検討してきた防災行動の内容を参加全機関で認識共有するために訓練を行いました。その後、完成式では「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」の運用協定が締結され、完成式フォーラムが常呂川減災対策協議会の主催により行われました。

- 開催日時 令和元年7月12日（金） 14:40 ~ 17:30
- 実施場所 北見市常呂町多目的研修センター 1階大ホール（北見市常呂町土佐2番地1）
- 主 催 常呂川減災対策協議会

1. 開会

常呂川減災対策協議会会長の国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部 村上 昌仁 部長より、「本日、『常呂川下流地区水害タイムライン試行版』が完成しました。今後、協定に基づいて皆様で作りに上げてきたタイムラインがいよいよ運用が開始されます。このタイムラインを有効に使うためにも、関係機関、地域住民の防災意識向上を図ることが本日のフォーラムの目的の一つです。本日のフォーラムが常呂川下流地区水害タイムラインの活用と、常呂川減災対策協議会の目的である、迅速、確実な避難、社会経済被害の最小化を達成するために大きく貢献されることを期待しています。」との開会挨拶をいただきました。



村上 昌仁 部長

2. 基調講演

渡邊 康玄 氏 北見工業大学 副学長（研究、国際、地域連携担当）
＜常呂川出水時の常呂川下流における現象＞

3年前に実際に起こった現象を中心に他地域での現象で常呂川でも起こり得る現象を紹介しながらご講演を頂き、「オホーツク地方は年間降水量が全国に比べ少ないが、近年は降るときに大量に降る傾向にある。地形も人もその土地の気候風土に沿った生活をしている。いつ、どこで、どんな現象が起こるかわからない。住民の安全な避難のためにも過去の洪水時の現象を理解して何が起きるのか想定することが大切である。そのためにもタイムラインを使って実績を積むことを期待している。」とのタイムラインに関するコメントも頂きました。



渡邊 康玄 副学長

根本 昌宏 氏 日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター長
＜水害時における避難について＞

様々な立ち位置で命を守るためのPDCAサイクルの重要性、過去の災害を知ること、災害関連死などについてご講演頂き、「災害関連死は自分たちの行動、地域を守る行動で下げることができる。避難生活をする上で、T（トイレ）K（キッチン）B（ベッド）等の環境面と不安など精神面のケア、塩分過剰・水分不足等、体調管理を住民主導型で行うことが重要である。また、情報伝達の方法も大切である。災害大国日本で自分たちでできることを増やし、さらに、地域の中で多機関協同型で地域を安全にする仕組みを作りたい。」とのご助言も頂きました。



根本 昌宏 センター長

3. パネルディスカッション

テーマ「命を繋ぐタイムライン～常呂川下流地区タイムラインをどう活かすか」



小原 防災危機管理
担当部長

コーディネーターの松尾 一郎 客員教授の進行でパネルディスカッションは始まりました。パネリスト4名の自己紹介の後、北見市防災危機管理担当の小原部長より平成28年洪水の全体の概要、常呂川下流地区の避難情報と避難状況について説明があり、タイムライン検討に至った経緯や取り組みに期待したことなどを話しました。



コーディネーター
松尾 一郎 客員教授



辻 孝宗
北見市
常呂自治区長

今井 健
オホーツク総合振興局
網走建設管理部事業室長



吉田 修一
網走地方気象台
防災管理官

高橋 一浩
北海道開発局
網走開発建設部次長



それぞれパネリストから多方面に亘る課題や期待すること、これから必要な取り組みなどをお話しいただきました。常呂自治区長からは「市役所からの一方通行ではなく、関係機関のタイムラインと連動して住民が自分のものにして行く。災害に強いまちづくりを目指して地域に暮らす人が主人公のコミュニティタイムラインづくりに向けて日吉・福山地区、末広・開進町をモデル町内会としてご協力をお願いして行きたい。」とこれからの意気込みをお話しいただきました。

最後にコーディネーターの松尾座長より「今日話し合ったことを忘れないで、他の災害でも応用でき、防災担当が転勤で変わってもタイムラインを使い続け、継続する仕組みを作って欲しい。」とお話しされパネルディスカッションは終了しました。

4. 閉会

司会から、本日のすべてのプログラムの終了が告げられ閉会となりました。